

## 第2次循環型社会形成推進基本計画の 進捗状況の点検の進め方について（案）

### 1. 点検の背景

#### 第2次循環基本計画の点検について

第2次循環基本計画の第6章「計画の効果的実施」の第1節「中央環境審議会での進捗状況の評価・点検」における以下の規定に基づき、今回の点検を行う。

#### < 第2次循環基本計画 > より抜粋

循環基本計画の着実な実行を確保するため、毎年、中央環境審議会は、国民各界各層の意見を聴きながら、関係府省の自主的な点検結果を踏まえて、環境基本計画の点検との連携を図りつつ循環基本計画に基づく施策の進捗状況などの点検とともに、毎年度重点的 point 検事項を設定し、中央環境審議会において集中的な審議を行い、必要に応じ、その後の政策の方向につき政府に報告します。

点検の内容については、次年度の関係省庁の政策の企画・立案、予算要求、組織・定員要求などに反映させる。

#### 点検についての中期的な方針

- H20.3 第2次循環基本計画決定
- H20.9～ 第2次循環基本計画の点検の開始
- H21 物質フロー指標の一部（隠れたフロー・TMR や産業別資源生産性など）についての検討に基づき審議  
地方公共団体等の取組について調査結果を踏まえ審議

H 2 2 進捗状況の中間評価

H 2 3 循環基本計画見直しのための議論を開始

必要に応じて計画の見直し

< 第 2 次循環基本計画 > より抜粋

また、内外の社会経済の変化に柔軟かつ適切に対応して、循環基本計画の見直しを行うこととし、見直しの時期は、5 年後程度を目途とします。

## 2 . 今年度の点検内容

今回の点検においては、以下を重点的に検討することとする。

3 つの社会（循環型社会、低炭素社会、自然共生社会）の統合的取組の状況

点検全般において統合的取組の実施状況に留意する他、初年度であることから、まずは廃棄物部門由来の温室効果ガス排出量及び廃棄物として排出されたものの原燃料への再資源化や廃棄物発電等により代替される化石燃料由来の温室効果ガス排出量について試算する。

地域循環圏の形成やリデュース・リユースの推進に向けた取組状況

地域における各主体の先進的な取組に注目する。特に、産業廃棄物排出量の 5 分の 1 を占める家畜ふん尿の地域における有効活用や全ての製造業・小売業等に関する物流・流通関係における梱包、包装に関するリデュース・リユースにスポットを当てる。

国際的な循環型社会の構築に向けた取組状況

5 月の G 8 神戸環境大臣会合、7 月の G 8 洞爺湖サミットの成果である神戸 3 R 行動計画や新・ゴミゼロ国際化行動計画を実施していくため、3 R の国際協力等についてとりあげる。

## 物質フロー指標や取組指標の定量的な把握・評価

第2次循環基本計画において新たに盛り込まれた指標について算出するとともに、低炭素社会への取組との連携に関する指標等については、最新の成果を反映させた試算を示す。

上記の検討に当たっては、以下のように、有識者、関係各省、関連業界等からのヒアリングを積極的に実施し、関係者の多様な意見を汲み上げるとともに、きめ細かな実態把握を進めることとする。

### < 国の取組 >

- ・ 関係各省からヒアリング

### < 事業者の取組（循環計画に基づく取組状況について） >

- ・ 日本経団連からのヒアリング
- ・ 業界団体からのヒアリング（社団法人日本物流団体連合会、社団法人日本ロジスティクスシステム協会、日本チェーンストア協会、電気事業者連合会）

### < 地域循環圏関係 >

- ・ 地域における事業者、NPO、自治体の取組についてヒアリング
- ・ 廃棄物系バイオマスとして畜産糞尿のバイオガス利用についての有識者ヒアリング

### < 国際的な循環型社会の構築 >

- ・ JICA から途上国支援の取組についてヒアリング

NPO/NGO、地方公共団体等の取組については、第2回の点検で重点的に聴取予定。

### 3. 今年度の点検スケジュール

平成 20 年 9 月 24 日 (水) 14:00 ~ 16:00	第 1 回	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第 2 次循環基本計画後の動きについて</li> <li>・平成 20 年度の点検の進め方について (G8 環境大臣会合、G8 洞爺湖サミット等)</li> <li>・事業者ヒアリング ( (社)日本ロジスティクスシステム協会、(社)日本物流団体連 合会、日本チェーンストア協会)</li> </ul>
平成 20 年 10 月 23 日 (木)15:00 ~ 17:00	第 2 回	<p>【地域ヒアリング(山形市)】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・山形における事業者、NPO、自治体の取組についてヒアリング (株式会社ヨコタ東北(P &amp; P トレーリサイクル研究会)、 長井市(レインボープラン推進協議会)、学校法人金山学園めばえ 幼稚園(かねやま新エネルギー実践研究会))</li> </ul> <p>部会の前に地域循環圏を考えるシンポジウムを開催(13:30~14:45 経済協力開発機構(OECD)環境局課長の講演等)。</p>

平成 20 年 10 月 29 日(水) 産業界の取組(リデュース・リユースの推進など)  
(第 3 回) 地域循環圏関係、国際的な循環型社会の構築について  
9:30 ~ 11:30



平成 20 年 11 月 28 日(金) 政府の取組について(関係省庁(経産省、農水省、  
(第 4 回) 国交省等)からのヒアリング)  
10:00 ~ 12:00



平成 20 年 12 月 10 日(水) 3つの社会(循環型社会、低炭素社会、自然共生社  
(第 5 回) 会)の統合的取組の状況(廃棄物部門からの温室効  
10:00 ~ 12:00 果ガス排出量、廃棄物発電の状況等)  
取組指標の進捗状況(アンケート結果等)について  
点検報告書構成案について



平成 20 年 12 月 22 日(月) 物質フロー指標の進捗・検討状況について  
(第 6 回) 点検報告書素案について  
15:00 ~ 17:00



平成 21 年 1 月頃

パブリックコメント



平成 21 年 2 月頃

点検報告書案について（決定）



平成 21 年 3 月頃

中環審会長から環境大臣へ報告、閣議報告